

大阪からネイチャーポジティブ実現へ
～みんなで作る自然と共生する社会～

2024年度 第2回

生物多様性の保全に向けた ネットワーク会議

定員：100名
(先着)
参加費：無料

テーマ：食から考える生物多様性



日時：2025年1月23日
18:30～20:30

開催方法：
Zoom ミーティングによる
オンライン会議



〈基調講演〉「大阪の食文化から考える生物多様性」18:40～19:10



深町 加津枝氏

深町 加津枝氏 (京都大学大学院地球環境学堂 准教授)

大原 歩氏 (京都大学大学院地球環境学堂 技術補佐員)

〈グループディスカッションとまとめ〉19:20～20:20

テーマ「地域の自然に根ざした食体験の記憶について」

子どもの頃を振り返ってご自身の食が今とどのように異なるかを共有し、その食の変化は生物多様性とどのように関わるか、話し合います。

都市に住む私たちが日々消費する現代の「食」は、遠く離れた生産地の生物多様性にまで影響を及ぼし、翻って私たちの食生活に影響を与えています。また、「食」は地域文化の重要な構成要素であるため、その劣化は私たちの文化の衰退にほかなりません。反面、地域の自然に根ざした食文化を大切にすることは都市の内外の生物多様性を保全し、ネイチャーポジティブ実現の鍵となります。本会議では3回にわたって「食」と生物多様性の関係を取り上げます。

第2回は大阪の食文化の変化に着目し、未来の豊かな「食」と生物多様性の保全を両立するために出来ることを考えます。



神事に使われ、与謝蕪村の俳句にも詠まれた「なにわ伝統野菜」



北前船が運ぶ各地の食材を活かした大阪の食文化は、生物多様性のめぐみのひとつ。“菱垣新綿番船川口出帆之図”

申込：○以下のフォームからお申込みください。(1名ずつお申し込みください)

<https://ws.formzu.net/dist/S526968422/>

○メールでの申込 info@e-being.jp まで以下をお知らせください。

①お名前 ②フリカナ ③ご所属(個人の場合は個人と記載) ④メールアドレス



申込締切：2025年1月20日(月)

主催：大阪市

運営：特定非営利活動法人イー・ビーイング

TEL：06-6614-1731 (平日10時～18時) Mail：info@e-being.jp